

《平成30年度》

第18回

生涯学習賞

表彰実施要領

亀岡市

I. 趣 旨

亀岡市は、「人間の尊重を基本として、常に、いま、何をなすべきかを問いかけ合いながら、生涯にわたり学び続け、自らを高め、連帯の絆を強め、その成果をまちづくりに生かしていく」という亀岡市生涯学習都市宣言の基本理念を広く内外に発信することを目的として、平成13年度から「生涯学習賞」を設けています。

本市は、日本における生涯学習の先駆的推進者である石門心学の祖、石田梅岩翁の生誕の地として、また、“豊かな心と文化を育むまちづくり”の実現にむけて、「生涯学習賞」を通じて亀岡市をはじめとする全国各地域の生涯学習によるまちづくりの推進、市民の生涯学習意識のさらなる醸成ならびに文化水準の向上に寄与することを願っています。

II. 表彰実施者 亀 岡 市

III. 後 援 文部科学省、全国生涯学習市町村協議会

IV. 表彰の種類、対象、基準等

1) 表彰の種類

◎生涯学習大賞『石田梅岩賞』 ※本年度は対象外です。

◎生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』

◎生涯学習共生賞『上田正昭賞』

◎生涯学習奨励賞

※「生涯学習大賞」と「生涯学習ゆう・あい賞」は輪番で表彰しています。
本年度は、「生涯学習ゆう・あい賞」です。

2) 表彰の対象

日本国内に限定せず、広く世界をも視野に入れたなかで、生涯学習の推進に多大な貢献をされた個人あるいは団体・グループを表彰する。

○生涯学習大賞『石田梅岩賞』

長年にわたり生涯学習の調査・研究活動に成果を上げ、生涯学習の振興に著しく貢献し、実践をしている個人あるいは団体・グループを対象とする。

○生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』

“人間尊重”（亀岡市生涯学習都市宣言）にふさわしく、一人ひとりが互いに認めあい尊重しあう、人間の絆を深める生涯学習のまちづくりに精進し、男女共同参画社会の発展に大きく寄与している個人あるいは団体・グループを対象とする。

○生涯学習共生賞『上田正昭賞』

「人間の尊重と地域社会の一員としての自覚のもと、いま、何をなすべきか」との、生涯学習都市宣言を尊重し、環境と人間との共生分野で、ローカルでかつグローバルな視点に立って、「ひとづくり」「まちづくり」に貢献されている個人あるいは、団体・グループを対象とする。

○生涯学習奨励賞

亀岡市生涯学習都市宣言にふさわしい、地域に根ざした生涯学習によるまちづくりを実践している個人あるいは団体・グループを対象とする。

3) 表彰の基準

○生涯学習大賞『石田梅岩賞』

- ① 心のあり方の大切さを今日痛感している我々に、心の持ち様や重さの再発見をさせることに尽力し、顕著な業績を上げている。
- ② 調査・研究活動が長期にわたっており、グローバルかつローカルな活動成果が顕著である。
- ③ 他の模範となる先進的でユニークな調査・研究事業等を展開している。

○生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』

- ① 熱い思いと情熱により生涯学習の道に精進し、文化の向上に寄与するまちづくりに積極的に取り組んでいる。
- ② 一人ひとりの個性と能力を互いに認め、尊重する共生の立場から、男女共同参画社会の発展に寄与し、生涯学習のまちづくりに業績を上げている。
- ③ 他の模範となる先進的でユニークな事業を展開している。

○生涯学習共生賞『上田正昭賞』

- ① お互いの多様なあり方を尊重し、クリエイティブ（創造的）に新しい物事を生み出すことに積極的に取り組んでいる。
- ② 生涯学習活動を通じ、自然環境保全など共生社会を築くための取り組み・活動を実践している。
- ③ 他の模範となる先進的でユニークな事業を展開している。

○生涯学習奨励賞

- ① 生涯学習によるまちづくりの事業が長期にわたっており、地域に根ざした活動を行っている。
- ② 生涯学習活動を通じ、地域の活性化・イメージアップにつながる活動をしている。
- ③ 他の模範となる先進的でユニークな事業を展開している。

V. 募集期限 平成30年8月15日（水）必着

VI. 受賞者の選考

生涯学習賞選考委員会において協議のうえ決定する。

選考委員長 上杉孝實（京都大学名誉教授）

選考委員 井上満郎（京都産業大学名誉教授）

加藤暢夫（京都大学名誉教授）

佐々木正子（嵯峨美術大学教授）

篠原総一（京都学園大学学長）

（50音順）

VII. 表彰方法

賞状および副賞を贈呈する。

受賞者および団体・グループを亀岡市に招聘し、授賞式を開催する。

生涯学習大賞『石田梅岩賞』及び生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』受賞者については受賞記念講演等を行う。

VIII. 賞の発表 平成30年11月3日（予定）

IX. 表彰時期 （賞の発表後、受賞者と調整）

X. 賞の内容

賞状及び副賞	（副賞）
・生涯学習大賞『石田梅岩賞』	100万円
・生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』	50万円
・生涯学習共生賞『上田正昭賞』	30万円
・生涯学習奨励賞	30万円

生涯学習都市宣言

わたくしたち亀岡市民は
人間の尊重と
地域社会の一員としての自覚のもと
常に いま 何をなすべきかを
問いかけ合いながら
生涯にわたり学び続け
自己を高め
連帯の絆を強めることにより
生きる喜びと
明るく豊かなまちに住む喜びの持てる
亀岡を目指し
ここに亀岡市を
「生涯学習都市」とすることを宣言する

昭和63年3月30日

亀岡市は生涯学習都市宣言30周年を迎えました

京都府亀岡市役所 生涯学習部市民力推進課

〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8

TEL: 0771-25-5002

FAX: 0771-22-6372

E-mail: syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp

亀岡市生涯学習都市宣言にある「人間の尊重を基本として、常に、今、何をなすべきかを問いかけ合いながら、生涯にわたり学び続け、自らを高め、連帯の絆を強め、その成果をまちづくりに生かしていく」という基本理念を、広く内外に発信する表彰制度として、平成13年度から「生涯学習賞」を設けています。

「生涯学習賞」は、21世紀における亀岡市をはじめとする全国各地の生涯学習によるまちづくりの推進に寄与するとともに、市民の生涯学習意識のさらなる醸成ならびに文化水準の向上に資することを目的としています。本市は、日本における生涯学習の先駆的推進者である石門心学の祖、石田梅岩翁の生誕の地として、また、男女共同参画を基本に生涯学習のまちづくりを進める地として生涯学習の意義を市内外に広く呼びかけるものです。



石田 梅岩翁

第18回 生涯学習賞 募集

生涯学習ゆう・あい賞「千登三子賞」 副賞50万円

一人ひとりが互いに認め合い尊重しあう、人間の絆を深める生涯学習のまちづくりに精進し、男女共同参画社会の発展に大きく寄与している。

生涯学習共生賞「上田正昭賞」 副賞30万円

生涯学習活動を通じ、自然環境保全を实践しており、共に物事を生み出していくクリエイティブ(創造的)な活動に貢献している。

生涯学習奨励賞 副賞30万円

地域に根ざした生涯学習によるまちづくりを長期にわたって実践しており、地域の活性化、イメージアップにつながる活動をしている。

【表彰の対象】

日本国内に限定せず、広く世界をも視野に入れたなかで、生涯学習の推進に多大な貢献をされた個人あるいは団体・グループを表彰する。

選考委員

委員長

上杉 孝實 (京都大学名誉教授)

委員

井上 満郎 (京都産業大学名誉教授)

加藤 暢夫 (京都大学名誉教授)

佐々木 正子 (嵯峨美術大学教授)

篠原 総一 (京都学園大学学長)

(50音順)

2018年
8月15日(水)
必着

※申し込み用紙などは、
亀岡市ホームページに掲載しています。

生涯学習賞

検索

お問い合わせ・応募先

京都府亀岡市役所 生涯学習部 市民力推進課

〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地 TEL 0771-25-5002(直通) FAX 0771-22-6372

E-mail :syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp

後援 文部科学省 全国生涯学習市町村協議会(順不同)

＜ 第 18 回 ＞
 生 涯 学 習 賞
 表 彰 候 補 者 推 薦 書

◇ 推薦者◇

個人名／団体名		代表者役職・氏名	
所在地	〒		
担当部署名			
担当者氏名		担当者連絡先	TEL :
			携帯 :
			FAX :
			メール :

以下の個人・団体（グループ）を推薦いたします。

部 門	・生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』 ・ 共生賞『上田正昭賞』 ・奨励賞 いずれかに○をしてください。		
(フリガナ) 個人名／団体名			
代表者役職・氏名 (団体の場合のみ記入)			
連絡先／所在地	〒		
	TEL :	FAX :	
	メール :		
	ホームページ :		
個人の経歴 または 団体の概要			

<p>主な事業</p>	<p>調査・研究事業等生涯学習活動の内容をお書きください。</p>	<p>推薦理由</p>
<p>推薦理由</p>	<p>調査・研究事業等生涯学習活動の内容をお書きください。</p>	<p>推薦理由</p>

- ・紙面不足の場合は、適宜追加してください。
- ・活動内容がより理解しやすい資料等を添付してください。
- ・場合によっては、追加資料を求めることがあります。
- ・個人情報保護のため、本推薦書は「生涯学習賞」の選考資料、発表資料など、受賞者選考に関する目的のみに利用します。
- ・本様式のデータ送付を希望される場合は、亀岡市市民力推進課までご連絡ください。
(メール送付先：syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp)

『生涯学習賞』受賞者一覧表

賞名	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	第5回(H17)	第6回(H18)	第7回(H19)	第8回(H20)	第9回(H21)
生涯学習大賞 (石田梅岩賞)	受賞者 エットレー・ジュエルピ (フランス)		日野原重明 (東京都)		千玄室・(故)千登三 子(京都府)		フランソワ・マセ (フランス)		赤松 良子 (東京都)
	概要 長年にわたるユネスコ生涯教育部門の責任者として、「自己決定学習」という新たな概念を提起し、国際的に生涯教育の普及に努められた。		新たな高齢者像や長寿社会づくりに向け様々な「生き方」を提起し、高齢化社会の生涯学習振興に大きく貢献された。	広く世界各国において、日本の心を普及に伝える茶道の普及に努められ、伝統文化の継承と発展に大きく貢献された。		日本の古典や文化、思想への造詣が深く、石田梅岩などに関する研究を行うとともに、生涯学習・国際交流等の発展に貢献された。			生涯学習活動や男女雇用機会の均等を含む女性の地位向上に貢献した。
生涯学習 ゆう・あい賞 (千登三子賞)	受賞者					福田 雅子 (大阪府)		イー・アス・ハンソン (和歌山県)	
	概要 世界の子どもたちへの教育支援活動や、人権問題を視点に、新しい時代の女性の生き方を提案するなどの、男女共同参画社会の実現された。			部落問題、女性の 인권問題を中心に活躍するなどの、男女共同参画社会の実現のために著実な研究と調査を実施された。					
生涯学習 奨励賞 第6回(平成18年度)から新設	受賞者	寄ろ会みなまた (熊本県水俣市)	齋藤 吉子 (亀岡市)	都城とさきき大学 (宮崎県都城市)	NPO法人東京継学大学 (東京都)		浦添市てご学園大 学院(沖縄県)	京都シニア大学 (京都市)	
	概要 地域やニメーター等の養成や、市町村の生涯学習まちづくり事業への支援など、広範な事業を展開された。	地域の価値あるものを見出し、それを認めることで、地域への誇りと愛情を沸き立たせようとする活動を継続的に行っている。	盲目という逆境の研究で、特に箏曲の研究と普及に全力を傾注し、邦楽文化の発展に大きく寄与された。	地域の学習財産を生かして、熟意ある自主活動で学習センターを創出し、生涯学習の推進に大きく貢献された。	ボランティアという手づくりの組織で、自由参加型の市民大を運営され、他の市町村にも多大な影響を与えられた。	地域社会の活性化と、高齢者の育成を目的として学習活動を展開され、他市町村の老人大学等にも多大な影響を与えた。			高齢者の方々が、自己の研鑽に励むよう講座を自主的に運営している。この生涯学習の実践が評価されている。
生涯学習 奨励賞	受賞者	亀岡市吹奏楽団 (亀岡市)	亀岡生涯学習 市民大宇運営委員会 (亀岡市)	亀岡子どもの本研究会 (亀岡市)	佐伯灯籠保存会 (亀岡市)		亀岡油絵懇話会 (亀岡市)	亀岡市文化資料館友 の会(亀岡市)	亀岡市生涯生活改善推進 員協議会 (亀岡市)
	概要 吹奏楽を通じ青少年への指導や、地域文化活動の中心として活躍できる人材の育成に貢献された。	吹奏楽を通じて青少年への指導や、地域文化活動の中心として活躍できる人材の育成に貢献された。	長年にわたり市民大の企画・運営を参加者主体で取り組み、市民の生涯学習推進の中心的役割を演じてきた。	長きにわたる子どもたちへの読み聞かせをはじめ、大型紙芝居の取り組みなど、地域学習活動の向上に貢献された。	文化体験プログラム事業の実施や様々なフェスティバル等に参加し、地域に誇りの保存継承に貢献された。	本市はもちろんだ、東京、京都美術館、ニューヨーク展等にも出品し、生涯学習の輪を広げ、市民文化の向上に貢献された。			昭和40年から市民の食生活の改善と食育の普及・啓発活動を行っている。
生涯学習 奨励賞	受賞者	花と緑の会 (亀岡市)		亀岡山鉾連合会 (亀岡市)					心学明誠舎(大阪府)
	概要 緑花ボランティア育成とともに、花と緑の創出や管理に取組み、着実な緑花の推進に貢献された。	緑花ボランティア育成とともに、花と緑の創出や管理に取組み、着実な緑花の推進に貢献された。	町衆の熱意を結集し、地域の保存・継承と発展への取組みを実践され、生涯学習の推進に大きく貢献された。						

賞名	第10回(H22)	第11回(H23)	第12回(H24)	第13回(H25)	第14回(H26)	第15回(H27)	第16回(H28)	第17回(H29)
生涯学習大賞 (石田梅岩賞)	受賞者	佐渡 裕 (兵庫県)		大谷 貴 (京都府)		あしなが育英会 (東京都)		山折 哲雄 (京都府)
	概要	広く多くの方にクラシック音楽の魅力を伝えるとともに、音楽教育に力を注いでいる。		犯罪被害者とその家族の人権擁護に理論面のみならず実践面でも永年にわたり精力的に取り組んでいる。		長年にわたり連年の支援に取り組む、多くの連年の自立に大きく貢献、また日本のみならず国際的な取り組みを展開している。		宗教・思想の深層に切り込む意欲的な研究を行い、その普及のための著述・講演活動などに取り組んでいる。
生涯学習 ゆう・あい賞 (千登三子賞)	受賞者	樋口 恵子 (東京都)		神田 道子 (東京都)			本田 優子 (北海道)	
	概要	女性問題、福祉、教育の分野で幅広く評論活動を行い、女性の地位向上に貢献した。		女性や男女平等に関する問題についての著書・研究に長年取り組まれ、女性の地位向上に努められた。		国等における男女共同参画行政に関わり、また、大学での活動を通じ、女性の教育と地位の向上に貢献した。		アイヌ民族の言語・文化の研究と保護に努められ、またアイヌ民族の学生に対する支援体制を構築された。
生涯学習 共生賞 (上田正昭賞)	受賞者	NPO法人亀岡人と自然のネットワーク (亀岡市)	中川 重年 (亀岡市)	てるはの森の会 (宮崎県)	NPO法人プロジェクト保津川 (津川 (亀岡市))			NPO法人八幡たけくらぶ(京都府八幡市)
	概要	亀岡の人や自然に関する文化、歴史、地誌、生態、環境など、あらゆる分野に携わり、より良い自然環境の保全を実践している。	亀岡の里山環境の質を高めるだけでなく、地域と連携し農業振興に関わる活動を主軸としている。	照葉樹林の保全及び復元を多様な組織・団体との協働により多彩な活動で実践しており、今後も継続して発展が期待されている。	保津川流域において、環境保全活動に取組むのみならず、広く河川文化の再創進に取り組んでいる。	国の天然記念物であるモトキの保護に、地元自治会や各種団体などが協力し、地域一体となっている。		放置竹林の整備による、竹と樹木の他共生のための活動に取り組む、自然との共生を旨とした学習実践を長年にわたり実践している。
生涯学習 奨励賞	受賞者	NPO法人田舎アイーツ (倶利伽羅市)	秋津野塾 (和歌山県田辺市)	長澤 ちか子 (亀岡市)	ますみ会 (福井県大野市)			吉中 康子 (亀岡市)
	概要	地産地消、食育、伝統の味と技、新しい食の文化、家庭や地域に対する誇りや愛情等を発信することにより、地域の活性化を目指している。	地域住民が自ら参加して、自分たちが住む地域を作り上げていく先導的な取り組みを牽引し、地域の活性化に貢献している。	生涯学習の一環として、大正築の普及、指導者の育成に長年取り組んでおり、亀岡の文化向上に貢献された。	生涯学習講座への指導者派遣など、全国規模の同種活動を継続して実施している。	いしがき少年少女合唱団 (兵庫県石垣市)	離島という地理的なハンデを克服し、長年にわたり合唱を通じて青少年の健全育成に努めている。	
生涯学習 奨励賞	受賞者					夢ノスモスモのプロジェクト実行委員会 (亀岡市)		
	概要					地域住民が主体となり、コスモス園を中心とした地域の活性化、賑わいを創出している。		